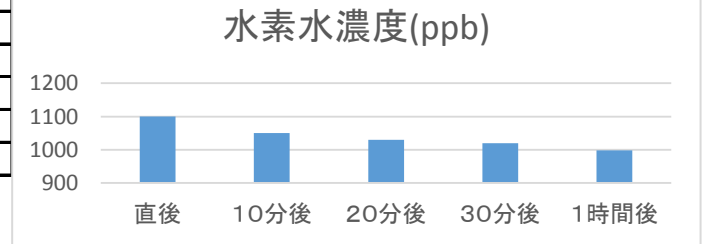


# Q:「ディスペンサーで生成した水素水を別容器で持ち出して飲用したいんだけど？」

## グラスに注いだ場合の溶存実験

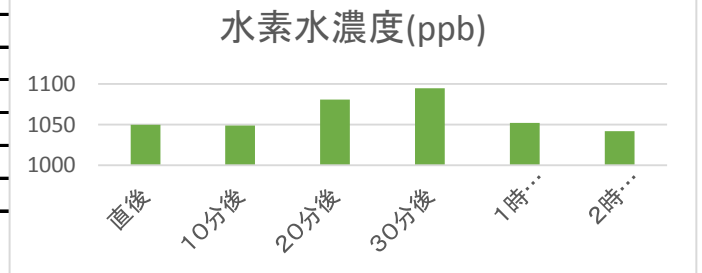
実験名:	水素水の溶存時間と濃度を測定		
飲料対象物:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分水素生成後、グラスに入れ計測		
温度条件等:	常温		
実験内容:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分水素生成。実験用サンプル生成水をグラスに注ぐ。直後・10分後・20分後・30分後・1時間後の各経過時間の濃度を測定し水素溶存(ppb)を測定。測定では出来るだけ水素水を揺らしたり動かしたりしない様に注意。		
時間経過	タイプ(機種)	水素水濃度(ppb)	備考
直後	DISPENSER	1100	
10分後	DISPENSER	1050	
20分後	DISPENSER	1030	
30分後	DISPENSER	1020	
1時間後	DISPENSER	998	



A: グラス保管では1時間後も1000ppbを溶存可能

## ペットボトルに注いだ場合の溶存実験①

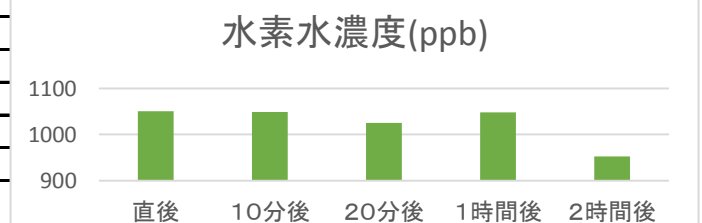
実験名:	水素水の溶存時間と濃度を測定		
飲料対象物:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分間水素生成後、炭酸飲料のペットボトルに入れ計測 * 満水のまま		
温度条件等:	常温		
実験内容:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分水素生成後市販の炭酸飲料用ペットボトルに注ぐ。直後、10分後、20分後、30分後、1時間後の各経過時間の濃度を計測し、水素溶存(ppb)を測定。計測では出来るだけ水素水を揺らしたり動かしたりしないように注意。		
時間経過	タイプ(機種)	水素水濃度(ppb)	備考
直後	DISPENSER	1050	
10分後	DISPENSER	1049	
20分後	DISPENSER	1081	
30分後	DISPENSER	1095	
1時間後	DISPENSER	1052	
2時間後	DISPENSER	1042	



A: ペットボトル保管では2時間以上1000ppbを溶存可能

## ペットボトルに注いだ場合の溶存実験②

実験名:	水素水の溶存時間と濃度を測定		
飲料対象物:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分間水素生成後、炭酸飲料のペットボトルに入れ計測 * 水量減らし		
温度条件等:	常温		
実験内容:	浄水器の浄水をディスペンサーで30分水素生成。ペットボトルに直後、10分後、20分後、30分後、1時間後、2時間後の各経過時間ごと徐々に水量を減らし、濃度を計測し中の空気量を換えた状態で水素溶存(ppb)を測定。 ※ペットボトル内に空気溜まりを作るとどうなるか?の実験		
時間経過	タイプ(機種)	水素水濃度(ppb)	備考
直後	DISPENSER	1050	
10分後	DISPENSER	1049	
20分後	DISPENSER	1025	
1時間後	DISPENSER	1048	
2時間後	DISPENSER	952	



A: ペットボトル内の空気溜まりがあると、ない状態の時よりも水素濃度が下がりやすい

※1000ppb=1.0ppm  
※自社調べ